



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月31日

上場会社名 アイカ工業株式会社
コード番号 4206 URL <https://www.aica.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 海老原 健治
問合せ先責任者 (役職名) 財務統括部長 (氏名) 森 要輔
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
TEL 052-533-3135

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	184,785	5.7	21,199	8.7	22,548	9.6	14,338	12.7
2024年3月期第3四半期	174,875	3.3	19,503	31.8	20,572	31.2	12,728	30.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 18,326百万円 (22.4%) 2024年3月期第3四半期 23,620百万円 (7.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	225.25	225.18
2024年3月期第3四半期	198.97	198.91

(注) 2024年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	275,044	180,351	60.4
2024年3月期	274,739	176,543	58.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 166,036百万円 2024年3月期 161,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		52.00		60.00	112.00
2025年3月期		56.00			
2025年3月期(予想)				66.00	122.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 配当予想の修正については、本日(2025年1月31日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	5.7	27,200	7.6	28,300	8.3	16,200	7.0	258.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2024年9月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	67,590,664 株	2024年3月期	67,590,664 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期3Q	4,822,744 株	2024年3月期	3,619,653 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	63,656,291 株	2024年3月期3Q	63,968,517 株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託(J-ESOP)が保有する当社株式(2025年3月期3Q 46,900株、2024年3月期 47,100株)が含まれております。また、株式給付信託(J-ESOP)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2025年3月期3Q 46,944株、2024年3月期3Q 47,411株)。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善などにより、景気は緩やかな回復基調が続いた一方で、エネルギーコストや原材料価格の高騰、為替・金利変動の影響などにより、先行き不透明な状況が続きました。アジア・オセアニア地域の経済につきましては、中国における不動産市況の停滞が続きましたが、東南アジアの景気は底堅く推移しました。

国内建設市場においては、住宅着工戸数は、分譲マンションなどが増加したものの持家が減少し、前年を下回りました。非住宅関連においては、店舗やオフィスなどの着工面積が増加しましたが、医療福祉施設や倉庫などが減少し、前年を下回りました。

このような経営環境の下、当社グループは、中期経営計画「Value Creation 3000 & 300」の方針に基づき、収益性の改善、成長事業の創出・育成、健全な経営基盤の構築などを推進いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高184,785百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益21,199百万円（同8.7%増）、経常利益22,548百万円（同9.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益14,338百万円（同12.7%増）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

（化成品セグメント）

接着剤系商品は、国内においては、施工用接着剤や木工・家具用接着剤などが好調で、売上が前年を上回りました。海外においては、ベトナムやマレーシアなどで堅調に推移し、売上が前年を上回りました。

建設樹脂系商品は、市場のニーズを捉えた機能を有する塗り床材「ジョリエース」や水性硬質ウレタン樹脂系塗り床材「アイカピュール」が好調に推移したことから、売上が前年を上回りました。

非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、国内においては、電子材料用・自動車用の高機能フィルム「ルミアート」が好調で、売上が前年を上回りました。海外グループ会社においては、パッケージ用のUV硬化型樹脂などが堅調に推移し、売上が前年を上回りました。

この結果、売上高は103,303百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は7,410百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

（建装建材セグメント）

メラミン化粧板は、国内においては、店舗などの非住宅市場で需要を獲得したことに加え、国内シェアNo.1のブランド力を活かした商品戦略により、単色・柄物ともに好調で、売上が前年を上回りました。海外においては、タイ、インドネシアなどで堅調に推移し、売上が前年を上回りました。

ボード・フィルム類は、シート合板や柄物のポリエステル化粧合板が低調に推移しましたが、粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」が好調で、売上が前年を上回りました。

メラミン不燃化粧板「セラール」は、店舗などの非住宅市場での需要を獲得するとともに高意匠メラミン不燃化粧板「セラール セレント」や抗ウイルスメラミン不燃化粧板「セラールウイルテクトPlus」などの採用が増加し、売上が前年を上回りました。

不燃建材は、アクリル樹脂系塗装けい酸カルシウム板「ルナライト」が好調で、売上が前年を上回りました。

住器建材は、住宅向け洗面化粧台「スマートサニタリー」や高級人造石「フィオレストーン」が好調で、売上が前年を上回りました。

この結果、売上高は81,482百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は16,870百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は170,873百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,748百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が11,633百万円、受取手形が1,074百万円減少したことに対し、売掛金が2,406百万円、商品及び製品が1,238百万円、流動資産その他が7,521百万円増加したことによるものであります。固定資産は104,171百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,053百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2,451百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、275,044百万円となり、前連結会計年度末に比べ305百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は59,428百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,394百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が2,801百万円、賞与引当金が1,215百万円減少したことによるものであります。固定負債は35,264百万円となり、前連結会計年度末に比べ108百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が683百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、94,692百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,502百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は180,351百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,808百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が6,912百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益が14,338百万円及び剰余金の配当が7,426百万円）、為替換算調整勘定が2,492百万円増加したことに対し、自己株式が3,985百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は60.4%（前連結会計年度末は58.9%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年7月30日に公表した業績予想に変更はありません。今後の景気の動向によって通期の業績見込みについては見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,022	50,389
受取手形	23,449	22,374
売掛金	48,824	51,231
商品及び製品	16,010	17,249
仕掛品	1,816	2,019
原材料及び貯蔵品	13,897	13,273
その他	7,563	15,085
貸倒引当金	△962	△749
流動資産合計	172,621	170,873
固定資産		
有形固定資産	67,006	69,458
無形固定資産		
のれん	2,782	2,473
その他	8,653	8,448
無形固定資産合計	11,436	10,921
投資その他の資産		
その他	23,676	23,792
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	23,675	23,791
固定資産合計	102,117	104,171
資産合計	274,739	275,044
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,447	31,092
電子記録債務	4,516	4,148
短期借入金	6,025	6,674
未払法人税等	4,760	1,958
賞与引当金	2,854	1,638
有償支給取引に係る負債	2,333	2,384
その他	10,884	11,530
流動負債合計	62,822	59,428
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	18,054	18,040
長期借入金	4,465	3,781
退職給付に係る負債	1,878	1,898
その他	10,975	11,544
固定負債合計	35,373	35,264
負債合計	98,195	94,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	8,545	7,478
利益剰余金	127,725	134,637
自己株式	△6,129	△10,114
株主資本合計	140,033	141,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,999	7,877
繰延ヘッジ損益	3	10
為替換算調整勘定	13,470	15,962
退職給付に係る調整累計額	280	293
その他の包括利益累計額合計	21,753	24,144
新株予約権	19	19
非支配株主持分	14,736	14,295
純資産合計	176,543	180,351
負債純資産合計	274,739	275,044

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
売上高	174,875	184,785
売上原価	127,659	134,544
売上総利益	47,216	50,241
販売費及び一般管理費	27,712	29,042
営業利益	19,503	21,199
営業外収益		
受取利息	369	454
受取配当金	431	494
その他	802	1,091
営業外収益合計	1,602	2,040
営業外費用		
支払利息	162	192
その他	371	499
営業外費用合計	533	691
経常利益	20,572	22,548
特別利益		
負ののれん発生益	466	—
特別利益合計	466	—
税金等調整前四半期純利益	21,038	22,548
法人税、住民税及び事業税	6,155	5,924
法人税等調整額	1,045	946
法人税等合計	7,201	6,871
四半期純利益	13,837	15,677
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,109	1,339
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,728	14,338

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
四半期純利益	13,837	15,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,315	△122
繰延ヘッジ損益	0	7
為替換算調整勘定	7,669	2,729
退職給付に係る調整額	△27	15
持分法適用会社に対する持分相当額	△174	20
その他の包括利益合計	9,783	2,649
四半期包括利益	23,620	18,326
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,165	16,728
非支配株主に係る四半期包括利益	2,455	1,597

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第3四半期連結累計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第3四半期連結累計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等の注記）

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	96,743	78,131	174,875	—	174,875
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,967	2	2,970	△2,970	—
計	99,711	78,134	177,846	△2,970	174,875
セグメント利益	7,160	15,238	22,399	△2,895	19,503

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,895百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,897百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門（人事、総務、経理部門等）に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	103,303	81,482	184,785	—	184,785
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,841	2	2,843	△2,843	—
計	106,145	81,484	187,629	△2,843	184,785
セグメント利益	7,410	16,870	24,281	△3,081	21,199

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,081百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,074百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門（人事、総務、経理部門等）に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2024年9月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,207,400株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,999百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が10,114百万円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
減価償却費	5,009百万円	5,847百万円
のれんの償却額	563百万円	490百万円